

輝け！シン尾花沢中

第25号

令和7年

5月15日

まちのさかえは 国の富 はたらくものの よろこびを

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

スギの矯正⇒大人の「支援」と子供の「素直さ」の大切さ

先の大型連休中、保護者の皆様、生徒の皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

私は、年老いた両親を手伝うことの多かった連休でした。その手伝いの一つに、スギの矯正がありました。今回は、矯正作業をしながら教育について考えたことを紹介します。

4年前にスギの木を伐採した林に、昨年の夏、両親がスギを植樹しました。ところが、大雪でスギの幼木の多くが、折れたり、曲がったりしてしまいました。そこで、右の写真のように、幼木の側に木を立てて支えにし、矯正する作業を行いました。



作業をしながら、学校教育や家庭教育などについて、スギの矯正と教育が似ていることに気づきました。

子供達は長所もあれば課題もあります。長所も課題も全てひっくり返して個性であり、大切にしたいものです。ただ、長所を伸ばすと共に、課題はできる範囲で改善させてあげたいものです。

スギの幼木を子供に例えれば、支えの木は大人です。

保護者の皆様や我々教師は、子供に寄り添いながら、その躍動するエネルギーを正しい方向にまっすぐ伸ばしてやる。そして、生徒の皆さんは、様々な課題に遭遇しても、大人の教えを素直に受け取り、すくすくとまっすぐ育っていく。

正に教育の方向性と一致するのではないのでしょうか。

スギの木が右上の写真のようになるまで約40年かかります。

時間はかかりますが、大人の「支援」と子供の「素直さ」がバランス良く関連付くと、数年後の子供達の幸せにつながるものなのです。

おわりに。帰り道の清水にミズバショウが咲いていました。林にミズバショウが咲いたのは初めてのことです。先のようなことを考えていたこともあり、はかなくも美しい花から、シン・尾花沢中の輝かしい美しい未来を想像したところです。

【文責：校長 工藤雅史】

